川口町公民館報
公民館報
第98号
発行人 古田島 正
編集人 山田 豊作
印刷所 山勝堂印刷所

小千谷地震解説要旨

東大 宮村教授の

地震がいつどこで発生するかは全く予断を許さないものであり、かつその被害はまことに多様をきわめるため、防災上も地震対策は困難をきわめるというわけである。

小千谷地震の可能性については、昨年十一月十二日、第五回災害科学総合シンポジウムにおいて、東大宇宮村教授らが指摘したものですが、その後馬が問題に求めた具体的解説の要旨は次のとおりです。ご参考にしてください。

記

地表付近の深部構造が大きな変動を示すときは、地層がついに耐えきれなくなって地下における破壊を伴い、局部浅発地震を起すが、新潟県では十日町付近から小千谷を通って北の長岡方面までこのような地層構造が続き、それから新潟方面に向ってはこれがあるとかいう真剣に活動されたいなかったが、どの地域においても立ちに、どんな地震に対しても教育を宣視しなければならないと、日本人の誰もが考え、又考えさせられていた。

従って、社会教育を盛んにし、社会を住みよい、明るいものにしようと本気で考え、取組まれた、婦人会は再建され、青年団は新たに組織され、PTAは発足して、わかったようなから